

# 瓜生小だより

平成30年度 第7号  
平成30年 9月28日



## 元気を届けたい

校長 吉田 正行

瓜生小学校近隣に「高齢者総合ケアセンター ケアプラザ多摩」があります。瓜生小学校では5年ほど前から和太鼓の演奏を通して入居者の方々と交流しています。「日頃、ご家族ともなかなか会えない入居者の方々に何か敬老のお祝いをするにはできないだろうか」という思いから始まりました。

今年は9月7日、施設のイベントである「敬老会」のお祝いの一つとして6年生が和太鼓の演奏を披露しに行きました。

瓜生小学校の子供たちは、1年生から和太鼓に触れ、和太鼓の音や音を合わせることを楽しみながら、日本の伝統文化である和太鼓の歴史を学び演奏に取り組みます。6年生は6年間学んだ瓜生太鼓のまとめとして、学習したことを演奏を通して下級生や地域の方々に発信し、自分たちの思いを届けています。

9月から本格的に始まった練習は、音楽専科の指導の下、日本の武道や芸の稽古と同じように言動や行動が礼儀正しく進められ、常に整然と行われます。それと同時に気持ちを鎮め、精神統一して物事に取り組むという和の作法を習得し、心を磨いていくようにしています。和太鼓の原点は和の精神であると考え、日本にはこんな素晴らしい音があり、文化があるということを感じ、それを心を込めて伝えるようにしています。



施設で瓜生太鼓を披露する6年生

6年生は「施設で暮らす方々がいつまでも元気でいてほしい」という思いを届けようと必死に練習に励んできました。練習の成果があり当日は素晴らしい演奏を披露することができました。終了後は感動で涙をぬぐう方々多く、2階、3階のベランダから見ている入居者の方々からも大きな拍手と「ありがとう。よかったよ」という言葉をいただきました。

和太鼓の演奏を通して、6年生は自分が誰かの役に立てたという自己有用感を高めることができました。さらに今年は、グループごとに入居者の方々との交流や施設で働く方々の様子を見学することもできました。今回の体験や感動が自分の将来の夢や職業に影響を与えることもあるかもしれません。立派な6年生の姿に大きな成長を感じるとともに、これからも地域の中で子供たちが成長できる場を設定していきたいと思えます。



お花倶楽部の花壇の花で  
つくった花束を贈呈

### 【生活習慣のふりかえり 9月】

□に各自のふりかえりを記入する

あいさつ へんじ  
挨拶・返事

自分から気持ちよい挨拶や返事をしましょう。……………

やさしい言葉  
優しい言葉

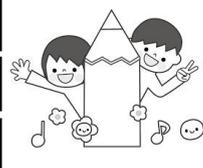
優しく心が温まる言葉づかいで話しましょう。……………

がくしゅう どくしょ  
学習・読書

家庭での学習や読書の時間を決めて取り組みましょう。…

しんせつ こうどう  
親切な行動

親切な行動、助け合いを毎日欠かさず実行しましょう。…



◎…よくできた ○…ときどきできた △…あまりできなかった

◆各自の一か月のふりかえりをご家庭でも話題にしてくださいようお願いします。